

特集

いま語りつたえる

―15年戦争下の子どもたちの戦争体験

いま15年戦争（アジア・太平洋戦争）を体験した世代から、その戦争体験を直接継承することが次第に困難になりつつあります。また今日、憲法9条の改正を求める動きも予断を許しません。そのなかで、戦争体験を次の世代に継承することは、今もつとも重要な課題になっています。

戦争体験を継承することは、直接の戦場体験に限るものではありません。銃後での生活、なかでも生活弱者としての当時の子どもたちの体験も含めて、広く継承される必要があります。

これからの世代が戦争体験を継承するには新たな困難もあります。戦争を肉声によらず、記録や資料等の間接体験を通じて継承しなければなら

いからです。したがって、これからの世代が戦争と平和についての歴史認識を形成するには、新たな継承の努力が求められています。

以下に掲載した方々の子ども時代の戦争体験を通じて、あらためて戦後66年間の平和の意味を考えてみたいと思います。

編集部

